

2016年度

小論文A

(問題)

注意事項

<H28109181>

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～3ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に丁寧に記入すること（以下の記入例参照）。所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に記入すること。
5. 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。読みづらい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意すること。

(記入例) 58001番 ⇒

万	千	百	十	一
5	8	0	0	1

(数字見本)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
9. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

小論文作成上の注意

1. 解答文は、所定の解答用紙におさまるように、日本語で書きなさい。
2. 句読点、記号等、および改行のために生じる余白もすべて字数に含む。また、解答用紙の字数を超えて解答してはいけない。（句読点、記号等は、必ず独立した1マスを使用する。）
3. 解答は横書きとし、楷書で左から右へと書くこと。
4. 本文中に自分の氏名を書かないこと。
5. 小論文解答用紙は汚したり、折り曲げたり、破ったりしないこと。
6. 下書きは、別に配付の下書き用紙を使用すること。試験終了後、下書き用紙は持ち帰ること。

問題 図1～2は、日本の若者を対象とした調査結果の一部である。これらの図について、はじめに設問1と設問2の順に分析し、空欄（1）～（6）にもっともよく当てはまる語句をそれぞれ1つずつ選択して解答欄にその記号を記入せよ。次に、続く設問3～5に答えよ。

【設問1】 図1に示される年代（高校生、大学生、社会人）・性別（男性、女性）の 카테고리ごとの特徴を簡潔に分析したい。この図は、自分たちの世代が将来の社会をリードしていくか、あるいは、自分たちよりも年齢が上の世代がリードしていくべきかを調査したものである。とくに（1）に着目して分析すると、高校生では自分たちが将来の社会をリードしていくべきだという積極的な意見の（1）は他の世代と比べて小さい。しかし、大学生や社会人になると急激に（1）が強く認められるようになる。もっと上の世代がリードしていくべきであるとする考え（「Bに近い」の回答）では、大学生では（1）がほとんどない一方、高校生では（2）。

- (1) ア: 男女差 イ: 年代差
 ウ: 高齢化 エ: 低年齢化
- (2) ア: 差が認められる
 イ: 差がまったく認められない
 ウ: 高齢化を悲観している
 エ: 低年齢化が加速している

【設問2】 図2に示される年代（高校生、大学生、社会人）・性別（男性、女性）の 카테고리ごとの特徴を簡潔に分析したい。この図は、社会制度を自分たちの働きで変えていくことができると思うかどうかを調査したものである。男子高校生では約15%が変えられると考えている一方で、男子大学生や男子社会人になるとその考えが（3）になっていく。女子高校生の13%強が変えられると考えているものの、女子大学生ではその数は大幅に（4）し、社会人女子では女子高校生の（5）程度に過ぎない。その一方で、自分たちでは社会制度を変えることができないと強く考える女子高校生は、男子高校生のそれと比べて（6）という特徴もある。

- (3) ア: 強く イ: 弱く ウ: 非線形的に
 エ: 指数関数的に オ: 平均的に
- (4) ア: 増加 イ: 低下 ウ: 停滞
 エ: 昇順 オ: 降順
- (5) ア: 4倍 イ: 2倍 ウ: 等量
 エ: 2分の1 オ: 4分の1
- (6) ア: 多い イ: 強い ウ: 変わらない
 エ: 少ない オ: 弱い

- A) 自分たちの世代が中心（主役）となってリード・牽引していきたい
B) 自分たちよりも上の世代が中心（主役）となってリード・牽引していくべき

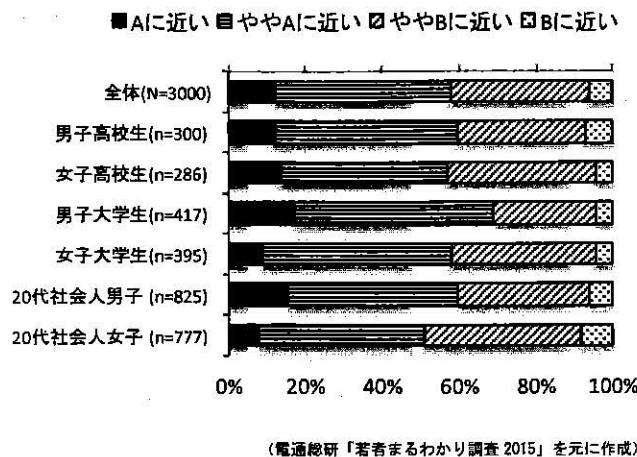


図1

- A) 社会の制度は自分たちの働きで変えられると思う
B) 社会の制度は自分たちではどうにもできない

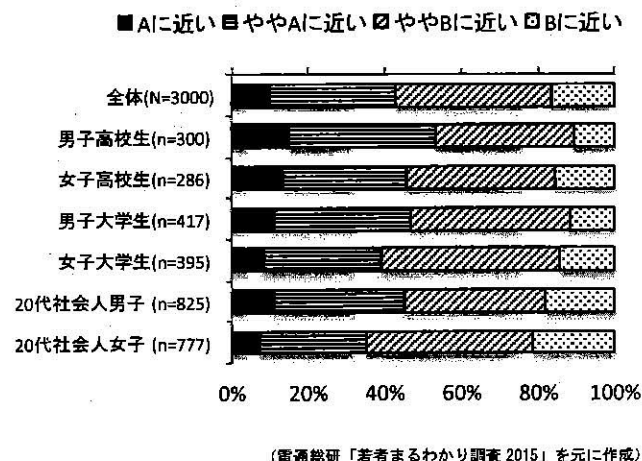


図2

【設問 3】 図 1 と図 2 を合わせて総合的に分析し、年代、性別に共通する特徴、および相違点を的確に表す 1 枚のスライドを作成し、スライド用の解答欄に記入せよ。ただし、設問 1、設問 2 で分析されている論点以外にも、自身が重要と考える論点について必ず含めること。さらに、自身で作成したスライドの内容を、100 字以上 200 字以内の日本語で要約し、横書きで解答欄に記せ。

なお、あなたが作成したスライドについては、(a) 内容に誤りがないか、(b) 扱われている情報に過不足はないか、(c) 発表スライドに適切なタイトルが付けられているか、(d) 図表やイラストを効果的に用いているか、(e) 数量的な表現がなされているか、(f) 論理構造がスライドのレイアウトに反映されているか、等の観点から評価されるものとする。

【設問 4】 設問 3 で解答した年齢、性別に共通する特徴、相違点について、それらを生じさせた原因ないしは背景と考えるもの、およびそれに対するあなたの意見を 300 字以上 400 字以内の日本語で、横書きで解答欄に記せ。

【設問 5】 調査手法に関する理解を深めるため、指導教員、学生 A、学生 B、の 3 人が以下のような議論をしている。その内容を読み、後の問に解答せよ。

学生 A: N が 3000 ってどういうこと?

学生 B: 調査全体の (7) 数が 3000 ということだよ。

学生 A: 男子高校生の場合に限ると 300 人が回答したということですね。ところで、さっきのは大文字の N だったのに、こっちはなぜ小文字の n なのでしょう。

教員: 全体数の場合は大文字の N、カテゴリーごとの数は小文字の n で表記することが多いです。今回の調査において、年齢・性別ごとのカテゴリーでもっとも少ないのは女子高校生です。もっとも多いカテゴリーと比べると 500 人以上の差がありますね。

学生 A: カテゴリーごとにそんなに違いがあっても調査は成り立つのでしょうか?

教員: B さんはどう考えますか?

学生 B: 極端に少ない数では正しい傾向は出ないと思いますが、ある一定数以上の (7) 数を確保できれば、正しい傾向は現れると思います。

教員: 正しい傾向ってなんでしょう?

学生 B: 調査対象の特徴をうまく抽出できるということです。

学生 A: どうしてこんなに数に違いがあるのですか?

教員: 標準的に高校生は 3 年間、大学生は 4 年間で卒業しますし、20 代の社会人は大学生との重複をとると 8 年と考えることができます。

学生 B: だから高校生、大学生、社会人の (7) 数の比がおおよそ「3:4:8」になっているのですね。

学生 A: 男女の数はだいたい同じくらいのはずだけど、それぞれにどうして違いがあるのでしょうか。

教員: 生まれてくる時点で男女は 50:50 ではなく、51:49 と言われています。2013 年の総務省統計局のデータによると、16~18 歳の人口は男性が約 185 万人に対して、女性は 176 万人です。

学生 A: 男女で進学率に違いがないとすると、女子高校生は男子高校生の (8) % 強しかいないことになりますね。

学生 B: カテゴリーごとの対象者の数に比例して調査の (7) 数を決めるというわけですね。

教員: これを層化抽出法といって、各層からの (7) の抽出は (9) に、あるいは機械的に行うのです。

問 5-1. 文中 (7) にもっともよく当てはまる用語を選択して解答欄にその記号を記入せよ。

ア: 標本 イ: 統計 ウ: 検討 エ: 推定

問 5-2. 文中 (8) にもっともよく当てはまる数字を選択して解答欄にその記号を記入せよ。

ア: 75 イ: 80 ウ: 85 エ: 90 オ: 95

問 5-3. 文中 (9) にもっともよく当てはまる用語を選択して解答欄にその記号を記入せよ。

ア: 恣意的 イ: 人為的 ウ: 科学的 エ: 自由 オ: 無作為

問 5-4. この会話文の内容と合致するものを 1 つ選択して解答欄にその記号を記入せよ。

ア: 学生 A は、年代別の平均値を求めるための適切な方法について質問した。

イ: 学生 A は、調査結果を理解する上での分散の重要性について論じた。

ウ: 学生 B は、調査対象を選定し抽出するための適切な方法について理解できた。

エ: 学生 B は、高校生の男女別の進学割合について強い関心をもった。

[以下余白]

小論文 A 解答用紙

<H28109181>					
受験 番号	万	千	百	十	一
氏名					

(所定欄以外に番号・氏名を書いてはならない)

2016年度

小論文 A

(解 答 用 紙)

No.

1

/

1

採 点 欄

設問 1	(1)	(2)

設問 2	(3)	(4)	(5)	(6)

[illegible]

設問 3	スライド
スライドの要約	

設問 5	問 5-1	問 5-2	問 5-3	問 5-4